

# 国立特別支援教育総合研究所

## 研究企画部

### 事業説明

## 研究企画部の主な業務

### ○特総研（NISE）の研究に係る総合的な企画立案 及び調整に関すること

- ・実施中の研究の推進に関わる支援
- ・次年度以降の研究に関わる文部科学省特別支援教育課との調整及び立案 等

### ○関係機関との連携に関すること

- ・近隣の自治体の教育委員会との連携の推進
- ・大学、企業との連携の推進 等

### ○研究活動の評価に関すること

- ・内部評価及び外部評価の実施
- ・ニーズ調査、活用度調査の実施と、意見の受理

# 第5期中期目標期間（令和3年度～7年度） における研究の方向性

## 基本方針

インクルーシブ教育システムの構築に向けて、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に貢献することをミッションとする。

インクルーシブ教育システムの構築、障害のある子供一人一人の教育的ニーズに対応した教育の実現に寄与するため、国、地方公共団体、大学、研究機関、学校等関係機関との連携を強化するとともに、研究所の役割をさらに明確にし、国の政策課題や教育現場の喫緊の課題等に対応した研究活動を実施する。

## 第5期中期目標期間における研究体系

研究区分	研究の性格(研究期間)
重点課題研究	障害種の枠を超えて、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究(2～3年間)
障害種別特定研究	各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究(原則2年間)。
その他	<p><b>基礎的研究活動</b>：<b>テーマ別研究班及び障害種別研究班</b>における基盤的な研究。年次基礎調査や、指導の充実等に寄与する調査・分析、それらの結果の普及等の基礎的・継続的な研究活動。</p> <p><b>先端的・先導的研究</b>：将来的な教育政策の検討資料や教育実践の選択肢を提示することを目標に行う研究(1～3年間)。</p> <p><b>国の要請等に応じた研究</b>：国の政策立案等に貢献することを目的とした研究。</p> <p><b>共同研究</b>：本研究所が大学や民間などの研究機関等と共同で行う研究。</p> <p><b>外部資金研究</b>：科学研究費助成金等の外部資金を獲得して行う研究。</p> <p><b>受託研究</b>：外部からの委託を受けて行う研究。</p>

- 「先端的・先導的研究」として令和5年度からの2年間、「知的障害のある児童生徒に対する系統的なプログラミング教育推進のための先導的研究」を実施。

## 重点課題研究及び障害種別特定研究

### 重点課題研究

<令和7年度に実施している研究>

※キャリア教育の充実に関する研究は令和6年度開始、令和7年度終了  
他の3課題は令和5年度開始、令和7年度終了

(1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)

- ・ 特別支援教育に係る教育課程の基準等に関する研究 (教育課程チーム)

(2) 切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)

- ・ 多様な教育的ニーズのある子供の学びの場の充実に関する研究ー通常の学級に在籍する子供への指導・支援に焦点を当ててー (学びの場チーム)
- ・ 共生社会の担い手を育む教育に関する研究ー障害理解教育の検討を中心にー (共生社会チーム)
- ・ 障害のある児童生徒のキャリア教育の充実に関する研究 (キャリアチーム)

### 障害種別特定研究

<令和7年度に実施している研究>

※令和5年度開始、令和7年度終了

- ・ 肢体不自由教育におけるICTの活用に関する研究 (肢体不自由ICTチーム)

5

## 重点課題研究及び障害種別特定研究

### 重点課題研究

<終了研究>

(1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)

- ・ 学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究(R4年度終了)

(2) 切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)

- ・ ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究(R4年度終了)
- ・ 障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究(R4年度終了)
- ・ 通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究(R4年度終了)
- ・ 高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究(R5年度終了)

### 障害種別特定研究

<終了研究>

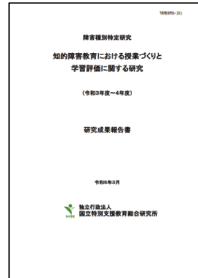
- ・ 知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究(R4年度終了)

6

## 重点課題研究・障害種別特定研究の成果

### <成果物>

- ・研究成果報告書
- ・研究成果報告書サマリー集
- ・ガイドブック
- ・リーフレット 等



研究成果・刊行物

研究成果・刊行物			
研究紀要	特別セミナー	NISE Bulletin	
研究結果報告書	調査報告書	ガイドブック・集約集	
研究結果報告書サマリー集	研究発表集	リーフレット	研究発表報告書
特別支援教育研究論文集	研究業績リスト	重点課題研究プロジェクト研究報告書 特別研究員論文	特別研究員報告書
特別支援教育シンポジウム			
研究成果・刊行物（障害種別）			
研究報告書	研究報告書	研究報告書	研究報告書
調査・身体感取組報告	生活報告書	自閉症・情緒障害報告書	発達障害報告書
発達障害（自閉症・情緒障害）の地域連携報告書	教材・教員		

### <成果物の活用例>

- ・研修会やセミナーでの活用
- ・学校・教職員への提供
- ・研究や施策推進にあたっての参考資料

## 重点課題研究等への特別研究員の参画

- ・ 特別研究員（地域連携型）を本研究所に派遣し、共に研究を行う都道府県・指定都市を公募。
- ・ 特別研究員（地域連携型）は、教育委員会、教育センターで特別支援教育に関わる職員や、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員。
- ・ 申請のあった教職員を、特別研究員（地域連携型）として受け入れ、申請内容を基に参画する研究課題を決定。派遣元の教育委員会を研究協力機関に指定。
- ・ 特別研究員（地域連携型）は、指定の研究チームに所属し、本研究所の職員と共に研究活動を行う。地域の情報を研究チームに提供するとともに、成果を地域に還元する。
- ・ 令和7年度の特別研究員（4県より5名が参画）
  - 青森県（キャリアチーム）
  - 静岡県（学びの場チーム、キャリアチーム）
  - 埼玉県（教育課程チーム）
  - 和歌山県（教育課程チーム）

## 基礎的研究活動

### テーマ別研究

社会的背景等から必要なテーマ別研究班を設置。関係団体との連携を図りながら基礎的研究活動を行い、その成果を重点課題研究や国の政策立案等に生かす。

- ① ICT班 : 特別支援教育におけるICT、教材・教具の活用に関する研究班
- ② キャリア班 : 障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援に関する研究班
- ③ 幼児班 : 乳幼児期の特別支援教育に関する研究班
- ④ 外国人等班 : 外国につながるのある子供の特別支援教育に関する研究班

### 障害種別研究

障害種別の研究班においては「障害種別特定研究」のほか、「基礎的研究活動」（各教育分野の指導の充実等に寄与する資料の収集や調査・分析、各教育分野の実態等を定期的に把握・分析することを目的とした年次基礎調査、それらの結果の普及等、当該障害種に係る基礎的・継続的な研究活動）を行う。

- ① 視覚班、② 聴覚班、③ 知的班、④ 肢体不自由班、⑤ 病弱班、⑥ 言語班、⑦ 自閉症班、⑧ 発達・情緒班、⑨ 重複班

## 研究成果の還元

研究成果は、事例集やリーフレット等としてウェブサイトに掲載しており、ダウンロードして活用できます。また、メールマガジンでの発信や研修事業、研究所セミナーでも普及を図っています。



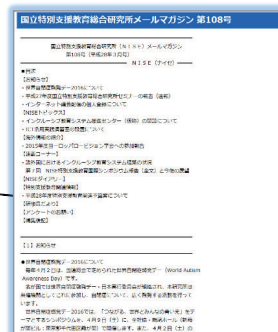
研究成果報告書



ガイドブック



リーフレット



メールマガジン



刊行物(市販)



研修事業(集合型実施時の様子)



研究所セミナー(集合型開催時の様子)

全ての研究成果についてはこちらから御覧いただけます  
[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/guide02](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/guide02)



# 研究成果の活用状況調査

○調査時期：毎年度末

○調査内容：前々年度以前に終了した研究課題の研究成果報告書  
サマリー集、研究成果報告書、リーフレット、ガイドブック、  
等の現場（当該機関、学校等）における活用状況等について

○調査方法：アンケートサーバーにアクセスして回答いただく

- ・活用状況 「よく活用した」「活用したことがある」「これまで活用していないが、今後、具体的に活用の予定がある」「これまで活用していないし、これからも活用の予定はない」
- ・活用の場面

○調査対象：都道府県・指定都市・中核市の教育委員会  
都道府県・指定都市の特別支援教育センター、教育センター  
市区町村教育センター、教育研究所

2025. 6. 30.

# 研修事業部業務説明



# 国立特別支援教育総合研究所の研修事業

## (1) 国の政策課題や教育現場のニーズ等に対応できる**指導者の専門性の向上**

- ・各都道府県等における障害種ごとの教育の中核となる教職員を対象とした専門的・技術的な研修及び各都道府県等における指導的立場にある教職員を対象とした特別支援教育政策上や教育現場等の喫緊の課題等に対応した専門的・技術的な研修を実施する。
- ・研修目的に留意しつつ、宿泊及びオンラインを適切に組み合わせ、講義のほか、研究所の研究の成果を踏まえた演習・研究協議、フィールドワーク等の形式を多く取り入れるなど工夫し、学術的な理論に裏打ちされた実践的かつ効果的な研修を実施すること。

## (2) 各都道府県等が実施する教員の**資質向上に関わる支援**

- ・多様な学びの場に対応した講義配信コンテンツの計画的な整備を図り、インターネットにより学校教育関係者等へ配信すること。
- ・特別支援学校教諭免許状取得率向上のために免許法認定通信教育及び免許法認定講習を実施するとともに、大学等が開設する講習への協力、受講者が受講しやすくなる環境・方策及び科目・単位の拡充の可能性について検討すること。
- ・大学等と連携して、教員養成段階の学生等を対象とした特別支援教育に関する専門的な講習を実施すること。

2

# 都道府県等における指導者の養成を目的とする研修

## 2025年度研修事業計画

名称		期間	募集人員
特別支援教育専門研修	第二期 知的障害教育コース ・知的障害教育専修プログラム	2025年 5月12日(月)～ 7月11日(金) ※集合・宿泊研修期間： 5月26日～6月20日	70名
	第二期 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース ・視覚障害教育専修プログラム ・聴覚障害教育専修プログラム ・肢体不自由教育専修プログラム ・病弱教育専修プログラム	2025年 9月9日(火)～ 11月 14日(金) ※集合・宿泊研修期間： 9月29日～10月24日	70名
	第一期 発達障害・情緒障害・言語障害教育コース ・発達障害・情緒障害教育専修プログラム ・言語障害教育専修プログラム	2026年 1月7日(水)～ 3月13日(金) ※集合・宿泊研修期間： 1月26日～2月20日	70名
インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会・セミナー	特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会	2025年 7月17日(木)～7月18日(金) 7月24日(木)～7月25日(金)	60名 60名
	高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会	2025年 8月28日(木)～8月29日(金)	70名
	交流及び共同学習推進指導者研究協議会	2025年11月26日(水) ※オンライン開催	80名
	発達障害教育実践セミナー	2025年12月4日(木) ※オンライン開催	70名程度
連携研修	特別支援学校寄宿舎指導実践協議会 (全国特別支援学校長会との連携研修)	2025年 8月20日(水)	50名程度

3

# 幅広い教職員の資質向上に係る支援

## ◆ インターネットによる講義配信

### 「NISE学びラボ～特別支援教育eラーニング～」

- ・インクルーシブ教育システムの構築など特別支援教育全般の基礎理論や総合的・横断的内容
- ・障害種別の専門性（概論、教育課程、指導法等）に関する内容
- ・通常の学級における学びの困難さに応じた指導に関する内容



## ◆ 免許法認定通信教育

- ・視覚障害教育領域・聴覚障害教育領域
  - <令和7年度前期開設科目> 教育課程及び指導法
  - <令和7年度後期開設科目> 心理、生理及び病理

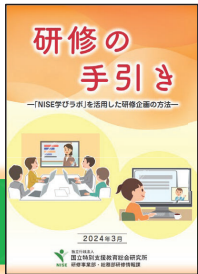
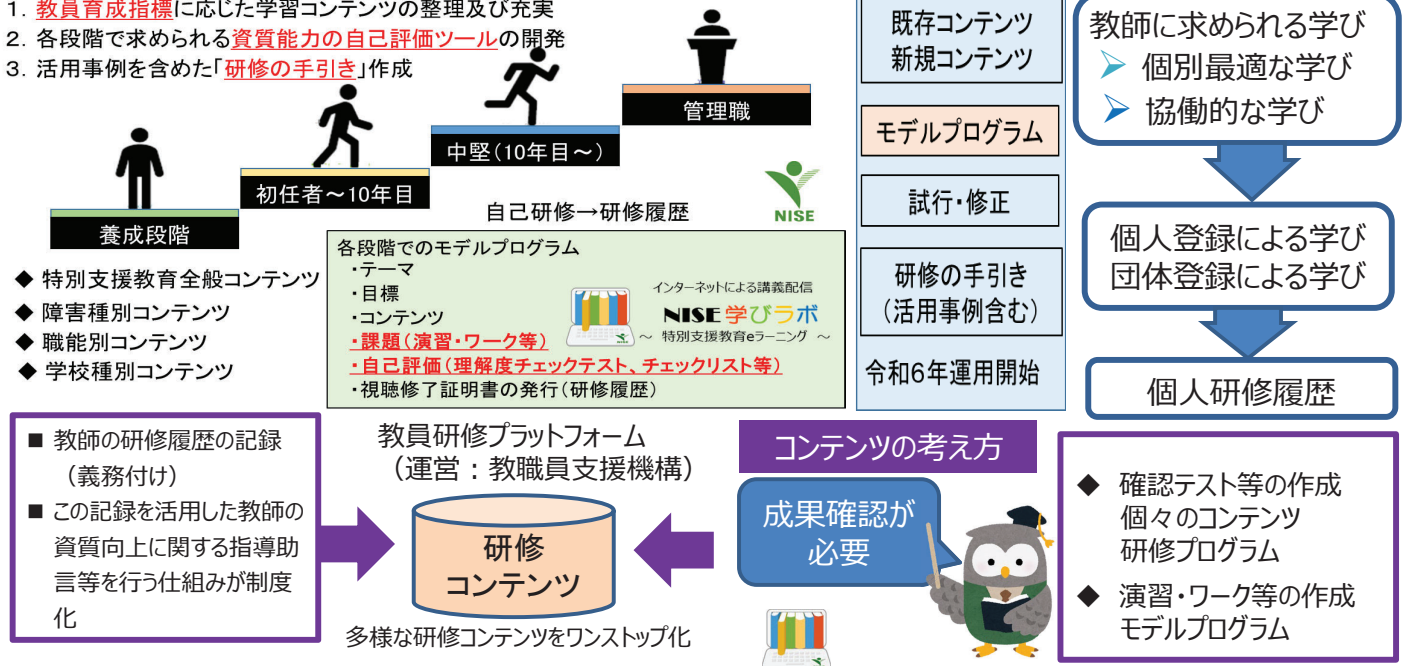
## NISE 研修体系

		目的	対象	形態	名称・内容	
教員のキャリアステージ	第3ステージ 広い視野で組織的な運営	指導者 の養成	第2ステージ及び第3ステージの教職員	来所若しくはオンライン、又は来所とオンラインを組み合わせる研修	特別支援教育専門研修	障害種別のコース・プログラムで実施 (視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害、情緒障害、言語障害)
	インクルーシブ教育システムの充実に関する指導者研究協議会・セミナー				特別支援教育施策上や教育現場等の喫緊の課題について実施 ・特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会 ・高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会 ・交流及び共同学習推進指導者研究協議会 ・発達障害教育実践セミナー	
	連携研修				・特別支援学校寄宿舎指導実践協議会 (全国特別支援学校長会と連携)	
	その他の研修				・難聴児の切れ目ない支援体制構築研究協議会	
教員養成大学	第1ステージ 実践力を磨き教職の基礎固め	資質向上のための支援	第1ステージから第3ステージの教職員	インターネットを活用した研修	講義配信	特別支援教育に関する基礎知識、各障害種の概論、指導方法等に関する講義を配信 ・個人研修支援（スタディー・ログの充実） ・研修プログラムの提供 ・団体登録による自治体や学校の研修を支援 (プログラムの作成、視聴証明書の発行等) ・小・中学校等の教員支援の強化

▶スクールリーダー：中核的中堅教員として、将来管理職となる者も含め、学校単位や地域単位の教員組織・集団の中で、中核的・指導的な役割を果たすことが期待される教員

# 教師の学びを支援する「NISE学びのアシスト」

1. 教員育成指標に応じた学習コンテンツの整理及び充実
2. 各段階で求められる資質能力の自己評価ツールの開発
3. 活用事例を含めた「研修の手引き」作成



令和5年4月に各都道府県・指定都市教育委員会及び教育センターに「研修の手引き(試案)」お送りしました。いただいたご意見等をもとに令和6年3月末にバージョンアップした「研修の手引き(正式版)」を発行しました!

NISEの研修、ぜひ、ご活用ください!



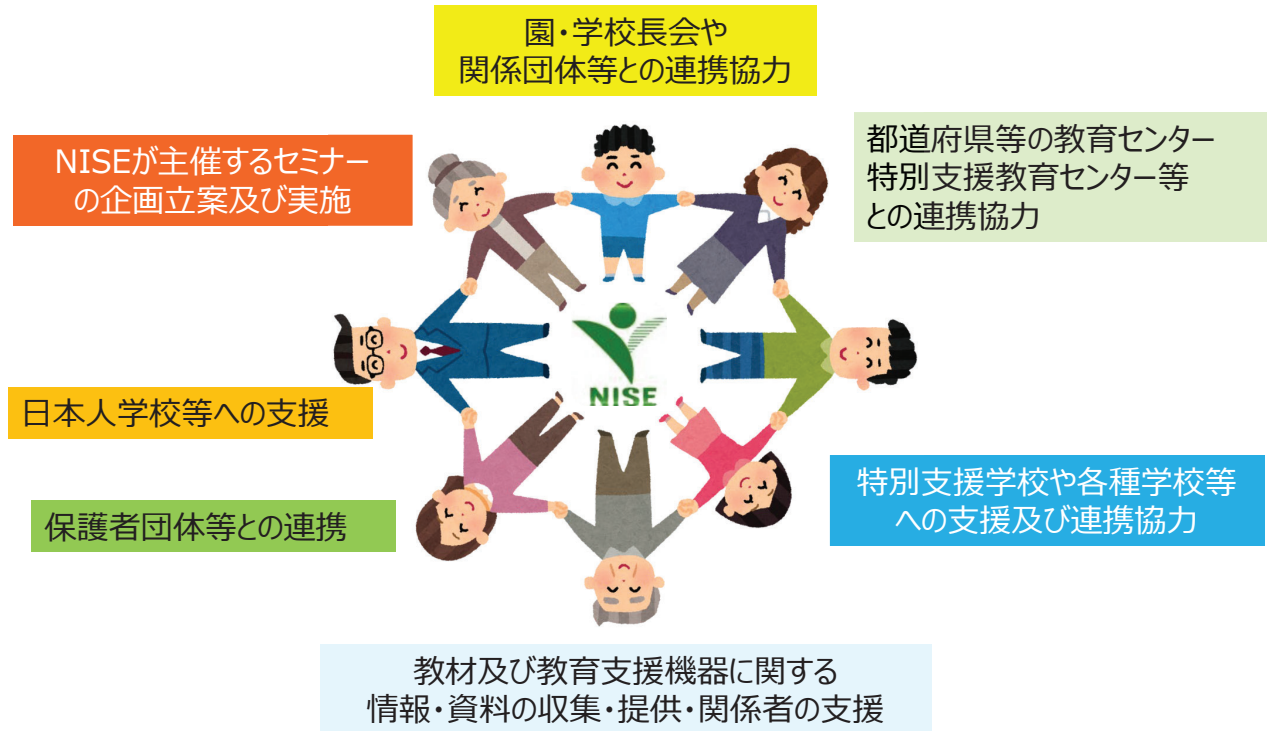
独立行政法人  
国立特別支援教育総合研究所  
National Institute of Special Needs Education

## 情報・支援部 事業説明

2025/6/30

情報・支援部

## 特別支援教育に関する情報の収集・蓄積・提供や理解啓発活動



### 学校教育支援・連携

## 関係する校長会等

校長会等との関係強化を図り、関係団体が主催する各種会議等を活用して、効率的・効果的に特別支援教育に関する情報を普及する。



## 中期目標

日本人学校に対して、**関係機関と連携**を図りながら、**保護者も含めた関係者への情報発信**を行うとともに、**教育相談支援等**を必要に応じて行うこと。  
 【指標】毎年度、日本人学校に赴任する派遣教員には研修会を通して、海外駐在予定の保護者等には相談会を通して情報提供を行うとともに、日本人学校に対し、特別支援教育に関する情報提供を定期的（年15回程度）に実施する。

## 中期計画

日本人学校に対して、特別支援教育に関する情報提供を定期的（年15回程度）に実施し、関係者への情報発信を行うとともに、日本人学校を通して教員や保護者からの相談に対応し、支援する。また、文部科学省と連携し、日本人学校への遠隔指導に関する取組を行うとともに、日本人学校等在外教育施設に赴任する教員（管理職等）の研修会や保護者等への相談会において、情報提供を行う。

### 関係機関との連携

- **文部科学省国際教育課**
  - ・日本人学校対象「教育課程等実施状況調査」への協力（特総研だよりへの掲載）
  - ・在外教育アドバイザーへ連携協力
  - ・在外教育施設に赴任する教員（管理職等）の研修会へ協力
- **海外子女教育振興財団**
  - ・AG+への協力（日本人学校への遠隔指導に関する取組：遠隔支援コンサルテーション、合同研修会、日本人学校特別支援教育コーディネーター勉強会等）
  - ・帰国子女のための学校説明会・相談会へ協力（保護者への相談会）
  - ・在外教育施設が採用する教員等の研修会へ協力（\* 研究所各種コンテンツ紹介：「特別支援教育サポート通信」、「特別支援教育リーフ」、「特総研だより」については、海外子女教育振興財団の日本人学校メンバーリストを利用し送信。）
- **海外子女教育専門相談員連絡協議会**
  - ・年5回程度実施



### 1 情報発信

- 特別支援教育に関する情報提供（「特別支援教育サポート通信」、「特別支援教育リーフ」、「特総研だより」）
- 在外教育施設に赴任する教員（管理職等）の研修会、在外教育施設が採用する教員等の研修会
- 保護者等への相談会

### 2 教育相談支援等

- メールでの相談支援
- 在外教育アドバイザーへ連携協力
- 日本人学校への遠隔指導に関する取組（AG+）
- 保護者等への相談会

## 情報戦略

### ホームページ

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
 NISE National Institute of Special Needs Education

Google 検索 | 印刷 | 携帯サイト | English

本文 | 文字サイズ 大 中 小 | 表示色 標準 | 1 2 | お問い合わせ

ホーム	特総研とは	研究	研修・セミナー	報告書・資料	各障害における関連情報	English
ここから始めよう、特別支援教育	発達障害のある子供の指導・支援のヒント	研究者情報	特別支援教育専門研修	サイトマップ		

### 特別支援教育リーフシリーズ

**A**dvance  
発展編

**B**asic  
基礎編

**C**ase studies  
事例編

「特別支援教育リーフ」刊行

国立特別支援教育総合研究所では、小・中学校等で初めて特別支援学級や通級による指導を担当する先生、特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生に向けて、障害のある児童生徒がそれぞれの学びの場でより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取組んでいくと良いかを考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載した「特別支援教育リーフ」を作成しました。

[詳しくはこちら](#)

特別支援教育リーフシリーズ

NISE学びラボ

発達障害教育推進センター Webサイト

インクルDB

発達障害者支援センター インターネット年やシリーズ

トップページからニーズの高いページに、ワンクリックでアクセス

# 研究所セミナー



## 主な内容（予定）

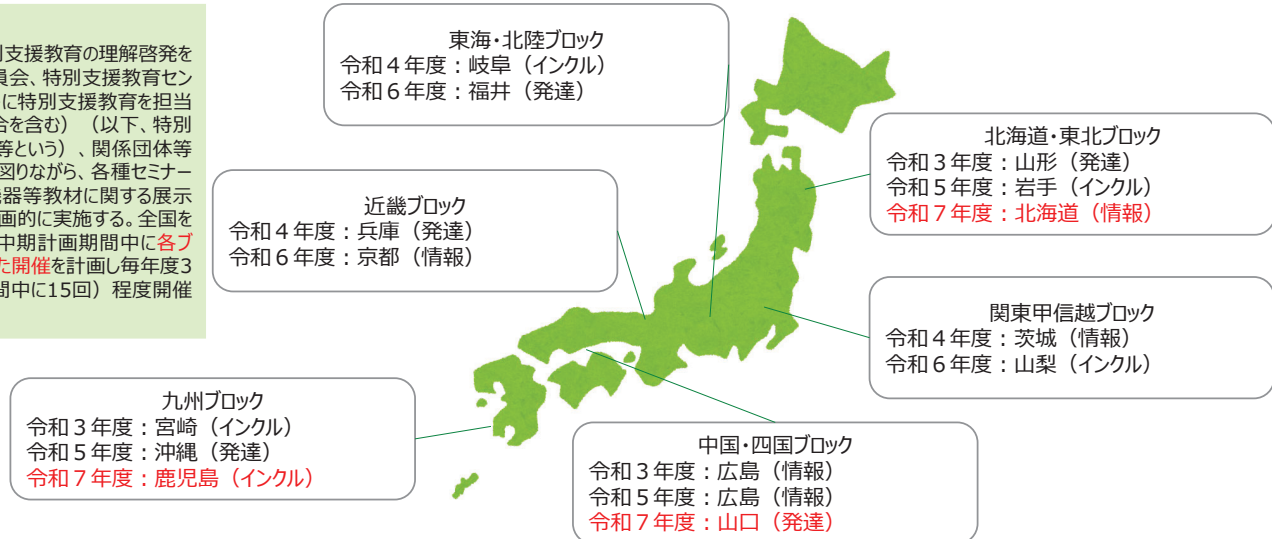
- 辻村賞授賞式及び記念講演
- 文部科学省行政説明
- 基調講演
- シンポジウム
- 研究テーマ別分科会
- 研究班活動ポスター発表 等



# 特別支援教育推進セミナー



**目的**  
 地域における特別支援教育の理解啓発を図るため、教育委員会、特別支援教育センター（教育センターに特別支援教育を担当する部署がある場合を含む）（以下、特別支援教育センター等という）、関係団体等及び大学と連携を図りながら、各種セミナーや研修会、支援機器等教材に関する展示会等を戦略的、計画的に実施する。全国を6ブロックに分け、中期計画期間中に**各ブロックの実情に応じた開催**を計画し毎年度3回（中期計画期間中に15回）程度開催する。



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
インクルシブ教育システム推進センター	九州ブロック 宮崎	東海・北陸ブロック 岐阜	北海道・東北ブロック 岩手	関東甲信越ブロック 山梨	九州ブロック 鹿児島
発達障害教育推進センター	北海道・東北ブロック 山形	近畿ブロック 兵庫	九州ブロック 沖縄	東海・北陸ブロック 福井	中国・四国ブロック 山口
情報・支援部	中国・四国ブロック 広島	関東甲信越ブロック 茨城	中国・四国ブロック 広島	近畿ブロック 京都	北海道・東北ブロック 北海道

2024  
リニューアル

# 支援教材ポータル

特別支援教育教材ポータルサイト

https://kyozai.nise.go.jp/

## リニューアル（見直し）内容

### ● 検索の利便性の向上（改善）

- スマートフォンやタブレットでも検索しやすい画面を新たに構成
  - 画面をスクロールせずに検索できるように検索画面の配置を改善
- 利用者にとってより効率的な検索
  - キーワード検索、詳細検索とも1回の操作で検索結果を表示

### ● 得られる情報の質の向上（改善）

- デジタル教材が中心になるように再構成
  - 特別支援教育におけるICT活用の高まりによるニーズに対応
- 「Pick Up」・「おすすめ」の設定（新設）
  - トップページに「Pick Up」のエリアを設置し、新着情報やテーマに沿った教材・支援機器の紹介などを重点的に広報
- 都道府県教育委員会、教育センター等の協力による実践事例の充実

## 今後のポータルサイトのさらなる充実

### ● 得られる情報の質の向上

- 動画コンテンツを導入（新規）※令和6年度実施予定
  - 実際の教材・支援機器を使用した動画コンテンツの掲載により、具体的な指導事例や活用方法を提供

## 国内のICTの実践集結



## 情報戦略

# 特別支援教育教材ポータルサイト



全国の特別支援教育で活用されている教材・支援機器、実践事例が掲載されています。

## 支援教材ポータル

特別支援教育教材ポータルサイト



# あしたの教室とライブラリー

## ICT活用実践演習室 [あしたの教室]の活用

通常の学級で、障害や困難さがある児童生徒が共に学ぶために、ICT機器を使ってどのような支援ができるかを、授業スタイルで考えるための研修や演習を行う教室です。



ICT機器を活用した通常の学級の授業を体験



あしたの教室内を仕切り、病院を想定し、遠隔で授業に参加している状況を体験

## 教育支援機器等展示室 [ライブラリー]

障害のある子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を実現する様々な教育支援機器やソフトウェアを展示した部屋です。

主に、学校で利用可能な市販品を障害種ごとにコーナーを設け、説明パネル等を使って紹介しています。



# あしたの教室（ICT活用実践演習室）

障害や困難さがある児童生徒へICT機器を使ってどのような支援や指導ができるかを実践的に学ぶための環境や設備を整えています。

<利用者数>  
累計707人(令和6年2月8日現在)

## 「あしたの教室」の特色

### 障害や困難さに応じたICT活用

様々な障害や困難さに対応する支援機器や設備を、実際に手にとって体験・活用することができます。



タブレットをトラックボールで操作



視線入力装置



タブレット型端末を置くために机を広げるツール

### GIGAスクール構想に応じたICT活用

GIGAスクール構想で導入された各種タブレット型端末や周辺機器をそろえているので各自治体・学校の環境に即した研修ができます。



Chromebook



Surface



iPad

### 学習場面に応じたICT活用

一斉学習や協働学習における支援や指導を想定した研修など、内容に合わせてレイアウトを変更してICT活用を実践的に学ぶことができます。



**特別支援教育リーフ シリーズ**

特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生へ初めて通級による指導や特別支援学級を担当する先生へ

Advance  
発展編

Basic  
基礎編

Case studies  
事例編

特別支援教育リーフは、特別支援教育について学ぶ機会がなかなか得られなかった先生や、小・中・高等学校等で初めて通級による指導や特別支援学級を担当する先生に向けて、学習上・生活上の困難さがある児童生徒がそれぞれの学びの場でもより良く学び充実した学校生活を送れるようになるためには、どのように取り組んでいくと良いか考えていくためのきっかけとなる内容をまとめ、取組のヒントとなる情報を記載しています。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 (NISE)  
情報・支援部  
〒239-8585 神奈川県横浜市都立区1番1号  
電話：046-839-6803 (代表)  
[https://www.nise.go.jp/nc/report\\_material/research\\_results/publications/leaf\\_series](https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results/publications/leaf_series)



○ **Basic (ベーシック) : 基礎的・基本的内容の紹介**

- Vol.1 ここからはじめてみよう、特別支援学級
- Vol.5 このように考えよう、合理的配慮
- Vol.7 みんなの思いをこぼにしよう！つなげよう！
- Vol.11 「交流及び共同学習」の授業づくり
- Vol.13 障害のある子供へのキャリア教育
- Vol.18 「自立活動」をプラスして、子供のできた！わかった！を増やしていこう
- Vol.20 知的障害のある児童生徒の学びを支える各教科について
- Vol.21 知的障害のある児童生徒の学びを支える学習評価について
- Vol.22 知的障害特別支援学級の教育課程編成と授業づくりについて

○ **Case Studies (ケーススタディーズ) : 事例から学ぶ**

- Vol.8 聞こえにくさのある子供の理解と支援
- Vol.9 感情をコントロールすることが苦手な子供の理解と支援
- Vol.10 人前で話すことが苦手な子供の理解と支援
- Vol.12 急な予定の変更に対応することが苦手な子供の理解と支援
- Vol.15 見えにくさのある子供の理解と支援
- Vol.16 子どもの話す「ことば」が気になる先生へ
- Vol.17 よく忘れ物をしてしまう子供の理解と支援
- Vol.19 板書を書き写すことが苦手な子供の理解と支援
- Vol.23 グウン症のある子供の理解と支援
- Vol.25 人工内耳をつけた幼児児童生徒への支援

○ **Advance (アドバンス) : 発展的な取り組みの紹介**

- Vol.2 障害のある子供も共に楽しむ体育の授業
- Vol.3 学習や生活を豊かにするICT
- Vol.4 多様性の理解につながる「障害理解」
- Vol.6 活用してみよう、「センター的機能」
- Vol.14 キャリア・パスポートの作成と活用
- Vol.24 困難さのある高校生の進路指導の充実を目指して

(2025.4.1現在 刊行済タイトル)

特別支援教育リーフ Vol.17 よく忘れ物をしてしまう子供の理解と支援

紙面の一部

下の表は、予想される要因と解決策の例です。  
どうしたら忘れ物を減らすことができるかを子供と一緒に考えることが大切です。

予想される要因	解決策の例
<p>指示などを<u>一時的に記憶にとどめておく力が弱い</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の指示を出すときには、一度にたくさんのことを伝えるのではなく、小分けにして提示し、1つ目が終わったら次の指示を出すようにしましょう。<u>課題や指示は「一度に1つ」を心掛けましょう。</u></li> <li>・<u>連絡帳やメモ帳に書く習慣</u>を身に付けさせましょう。書くことに時間がかかる子供には、<u>記入しやすいフォーマット</u>を活用してみましょう。</li> </ul>
<p><u>確認することを忘れてしまう</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校前や登校前に、持ち帰る物や持っていくものを<u>先生や保護者と一緒に確認</u>することで、<u>習慣化</u>できるようにしましょう。</li> <li>・<u>持ち物確認シート</u>を作り、視覚的にチェックすることができる工夫も有効です。</li> </ul>

メールマガジン、LINE、X（旧Twitter）による発信

メールマガジン

毎月ご案内。

【主な内容】

- ・ 特総研からのお知らせ
- ・ 特総研に関するトピックス記事
- ・ 研究成果、海外情報の紹介
- ・ 特別支援教育関連情報



LINE

毎月2～3回ご案内。

【主な内容】

- ・ 特総研からのお知らせ



X（旧Twitter）

随時ご案内。

【主な内容】

- ・ 特総研からのお知らせ



14

イベント紹介

研究所公開

日 程 令和7年11月8日（土）  
開催場所 国立特別支援教育総合研究所  
（神奈川県横須賀市）



研究所を身近に感じていただける体験型のイベントです。

国立特別支援教育総合  
研究所セミナー

日 程 令和8年2月28日（土）  
開催場所 国立オリンピック記念  
青少年総合センター



研究所の活動や研究成果を報告します。

特別支援教育推進  
セミナー

- 【ICT活用(北海道・東北ブロック、北海道)】  
日時：令和7年9月25日（木）11：00～17：00  
テーマ：学校現場における組織的なICT活用の実際
- 【インクルーシブ教育システムの推進（九州ブロック、鹿児島）】  
日時：令和7年11月12日（水）13：00～17：00  
テーマ：地理的特色を生かした多様な学びの場を生かした支援の充実（仮）
- 【発達障害のある子どもの理解と支援（中国・四国ブロック、山口（予定））】  
日時：令和7年10月1日（水）13：00～17：00  
テーマ：保護者や関係機関との連携による発達障害等のある子供の理解と支援（仮）

15

# 国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 業務説明



2025/6/30 (月)

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
 発達障害教育推進センター



## 【①情報発信】 Webサイトによる情報提供



教育関係者の方 障害者・ご家族・一般利用の方 福祉関係者・支援者の方

主なコンテンツ

- ① 発達障害の理解
- ② 指導・支援
- ③ 研修講義動画
- ④ 発達障害Q&A
- ⑤ 発達障害に関する研究
- ⑥ 国の動向や法令等
- ⑦ イベントや研修会の情報

本センターのWebサイトへのアクセスは  
**NISE 発達障害**  
 の検索ワードを入力して、クリック！

研修講義の一部は  
 YouTubeでも視聴可

昨年度終了した「発達障害教育の情報提供等にか  
 かる検討会議」の成果を生かして、今年度1月に  
 Webサイトリニューアルの予定です！



## 【② (機関連携による)情報発信】 発達障害ナビポータル



- 国が提供する発達障害に特化したポータルサイトです。
- 発達障害に関する信頼のおける情報を提供します。
- 厚生労働省、国立障害者リハビリテーションセンター、文部科学省、国立特別支援教育総合研究所の共同運営です。

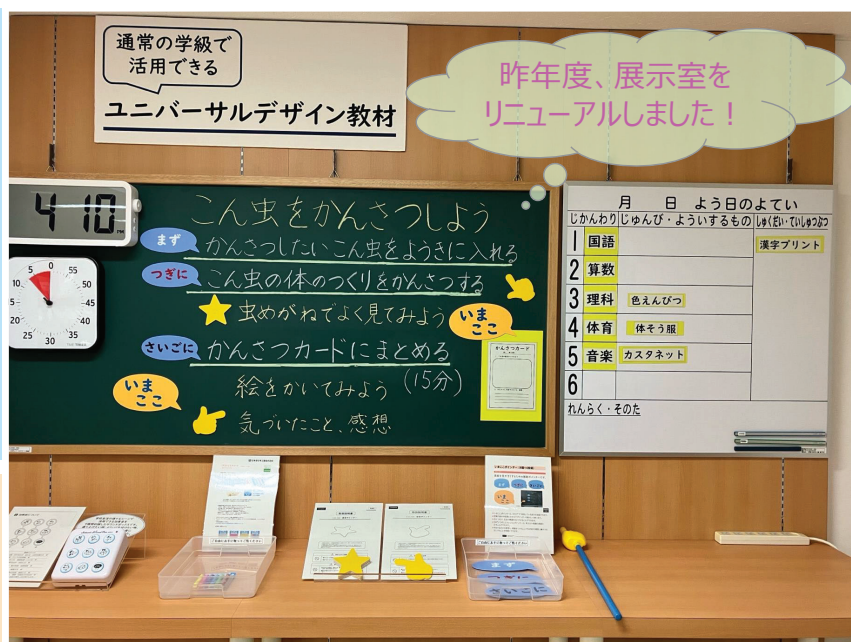
Webサイトへのアクセスは  
**発達障害 ナビポータル**  
 の検索ワードを入力して、クリック！

## 【③ 情報発信】 発達障害教育推進センター展示室



発達障害に関する理解の促進、適切な対応や支援の充実に目的として、ライフステージに応じた教材・教具や支援ツールの展示、パネル展示や参考図書・映画の紹介、体験的な理解ができるコーナーなどを常設しています。

展示室にある教材・教具は、当センターWebサイトの「教材・教具」で紹介しています。



## 【④ 人材育成】発達障害教育基礎・実践セミナーの開催



### 令和7年度 発達障害教育基礎セミナー



#### <テーマ>

通常の学級における発達障害のある子どもへの支援と環境づくり

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センターでは、発達障害のある児童生徒に関わる有識者、学校関係者等による「発達障害教育の情報提供等にかかる検討会議」を設置し、通常の学級における発達障害教育の現状と課題を把握するとともに、ウェブを活用した情報提供等に向けた取組を行っています。

その一環としてオンデマンド配信によるセミナーを開催し、検討会議の委員である常葉大学教育学部 特任教授 笹森 洋樹 氏より、通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対する指導・支援について知見を提供いたします。

配信期間 令和 7年 7月 18日 (金)～令和 8年 1月 12日(月・祝)

対象 教育関係者

形式 オンデマンド配信

参加費 無料

内容 笹森 洋樹 氏 講演、講演内容に関する対談



時間	プログラム
5分	開会、趣旨説明
I部 45分	講演 「個に応じた指導・支援について(仮題)」 常葉大学教育学部 特任教授 笹森 洋樹 氏
	対談 常葉大学教育学部 特任教授 笹森 洋樹 氏 発達障害教育推進センター センター長 長江 清和
II部 45分	講演 「校内支援体制について(仮題)」 常葉大学教育学部 特任教授 笹森 洋樹 氏
	対談 常葉大学教育学部 特任教授 笹森 洋樹 氏 発達障害教育推進センター センター長 長江 清和
5分	講演終、閉会

申込 発達障害教育推進センターホームページからの申し込み

URL: <https://cpedd.nise.go.jp/r7kseminar>



昨年度終了した「発達障害教育の情報提供等にかかる検討会議」の提起を受けて、誰でも参加できる**発達障害教育基礎セミナー**を昨年度から開催しています。今年度は、文科省の「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議」の委員でもあった**笹森洋樹氏**に講師をお願いします。校内研修や校内委員会等で活用しやすいように、45分間のパッケージで二本立てとしました。



教師の人材育成を担う都道府県・指定都市の教育委員会及び教育センターの研修担当の指導主事等を対象とした**発達障害教育実践セミナー**は、12月4日(木)に開催します。

問合せ(e-mail) [v-r7-kseminar@nise.go.jp](mailto:v-r7-kseminar@nise.go.jp) (発達障害教育推進センター セミナー担当)

## 【⑤ 人材育成】当センターのその他の取り組み



### 研究所公開

毎年たくさんの皆様に来所していただいています。当センターは、発達障害教育の理解啓発のために展示室を公開をします。また毎年開催しているミニ講座では、当センターの研究員が発達障害の理解啓発の講義を行います。今年度は**11月8日(土)**に開催します。

### 特別支援 教育推進 セミナー

特総研として開催する**セミナー(オンライン)**です。当センターは、現地の教育委員会と発達障害者支援センターのご協力をいただき、**教育と福祉の連携**をテーマに開催します。今年度は**10月1日(水)**に山口会場をつないで配信します

### 特総研 セミナー

特総研全体の研究成果を発表するセミナーです。今年度は、**2月28日(土)**に、国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)を会場に開催します。(多様なニーズのある発達障害児の学びの場について等、当研究所が取り組んでいる研究成果を発表します。)

# インクルーシブ教育システム推進センターの ご紹介

地域支援事業



国際



インクル  
 DB



## インクルーシブ教育システム推進センターの業務

主として以下の3業務を展開しています

### ① 地域支援事業



教育委員会と連携・協働し、地域のインクルーシブ教育システム構築を推進

### ② 国際



インクルーシブ教育システム構築の国際的動向の把握と海外の研究機関との研究交流の推進

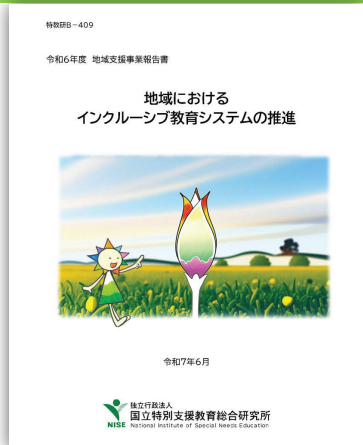
### ③ インクルDB



自治体や学校が直面する課題の解決に関する支援や情報発信

## 教育委員会と研究所が連携して 地域のインクルーシブ教育システム構築を推進する事業です

- 研究所との連携により、インクルーシブ教育システム構築に関する課題解決に向けた取組を推進します
- これまでの「地域実践研究」の研究成果を活用できます
- 他の参加地域と情報交換することができます
- 事業の成果を、研究所と協働して地域に普及することができます



令和6年度の地域支援事業報告書  
(15自治体の取組を掲載)



平成28年度～令和3年度地域実践研究の  
成果をリーフレットでまとめました  
インクルセンターのホームページをご覧ください

## 令和7年度 参加自治体 (6県市)

- 青森県
- 宮城県



- 赤平市 (北海道)
- 秦野市 (神奈川県)
- 鳥取市 (鳥取県)
- 宗像市 (福岡県)



## 令和7年度 実施計画

- 4月24日 事業説明会 (オンライン)
- 7月～ 交流スペース (オンライン)
- 8月下旬 推進プログラム (研究所)
- 2月下旬 事業報告会 (オンライン)

→全国の教育委員会に公開



# 国際的動向の把握と海外研究機関との交流

- 諸外国のインクルーシブ教育システムの最新動向を収集
  - アメリカ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、フランス、スウェーデン、フィンランド、韓国（8か国）
  - 大学教員等に特任研究員として協力を依頼
  - 文科省、審議会等へ情報提供、「特総研ジャーナル」等で普及
- 海外の研究機関等との国際交流
  - 韓国国立特殊教育院との「日韓特別支援教育協議会」（令和5年5月韓国、令和6年7月NISE、令和7年6月韓国）
  - 韓国国立特殊教育院主催の国際セミナーに研究員を派遣
  - フランス国立インクルーシブ教育高等研究所と連携協定
- 海外からの視察・研修の受け入れ
  - JICAの研修プログラム等、近年増加傾向
- 国際シンポジウムの実施
  - 令和7年12月（対面とオンライン）

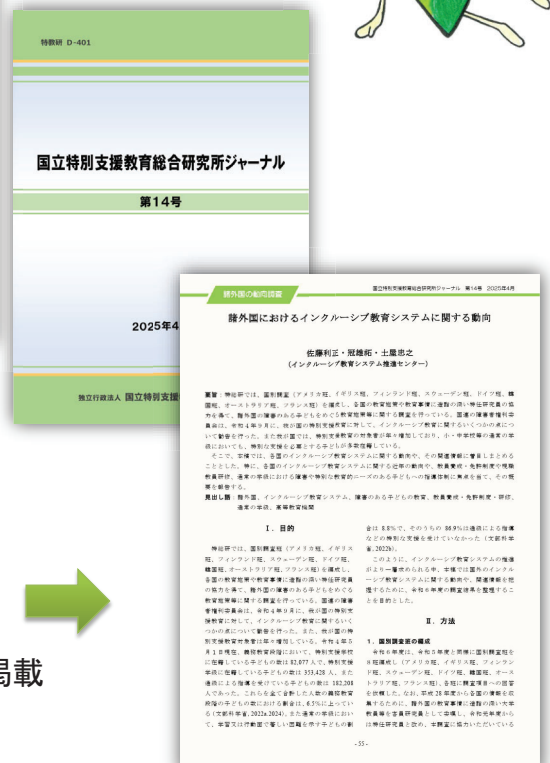


# 国際的動向の把握と海外研究機関との交流



本研究所で実施した  
日韓特別支援教育協議会（令和6年7月）

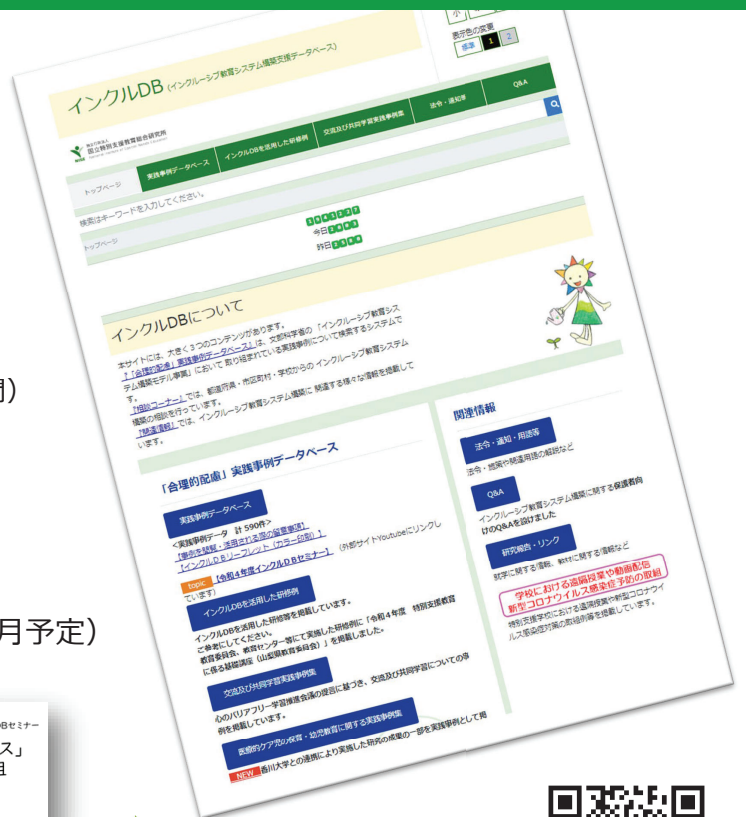
国立特別支援教育総合研究所ジャーナル(14号)に、  
令和6年度の国際的動向把握を整理した  
「諸外国におけるインクルーシブ教育システムに関する動向」を掲載





# インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）

- 文部科学省の「インクルーシブ教育システム構築モデル事業」等で得られた「合理的配慮」の実践事例をデータベース化
- 令和6年度※ 112,897 事例がダウンロードされ活用された  
(※令和7年2月末までの11か月間)
- 直近では以下を追加
  - ・インクルDBを利用した研修例
  - ・医療的ケアの必要な乳幼児事例
- オンラインセミナーの実施（令和7年12月予定）



これまでのセミナーの動画がご覧いただけます。



# インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）

インクルDB (インクルーシブ教育システム構築支援データベース)

文字の大きさ     
 表示色の変更     
 ▶ アクセシビリティツールを起動  
 ▶ ツールの使い方

検索

▲ トップページ ▶ 実践事例データベース ▶ 法令・通知等 ▶ Q&A ▶ 研究報告・リンク ▶ 教育相談情報

トップページ > 実践事例データベース (新) > 実践事例データベース II

実践事例データベース II

在籍状況  学年  障害種  新着順  10件

事例タイトル	【6】 特別支援学級に在籍するブラダー・ウィリー症候群の小学5年生の児童の学習意欲と自信を高めるための授業における配慮
事例の概要	A児は、B小学校の知的障害特別支援学級に在籍する、ブラダー・ウィリー症候群の小学5年生の児童である。軽度の知的な遅れの状態と側湾症がみられる。学習面では、絵を描いたり、手紙を書いたりする活動が好き。しかし、活動の見通しを十分にもつことができないときや、急な変更があったときは、活動が停滞することがある。 本事例は、A児の学習意欲と自信を高めるための授業における配慮に関するものである。具体的には、生活単元学習の授業を例に授業における配慮を考えた。 本事例の成果は、A児が活動に見通しをもって参加し、最後まで主体的に活動を行うことができるようになるために、次のような視点から授業において配慮を行う必要があることが明確になったことである。①活動の順番がわかる手順カードを提示すること、②実際の場に近い疑似体験の場を設定すること、③正しい手順で活動できたかを確認することができる評価方法を設定することである。このような配慮を行うことで、A児は、自分ができるように活動すると良いのかを考え、取り組むことができた。
在籍状況	小学校 (特別支援学級)
障害種	知的障害
キーワード	手順カード、疑似体験の場の設定、評価方法の設定、ブラダー・ウィリー症候群
事例リンク	<a href="#">H27_0396PSS-1D.pdf</a>

【5】 特別支援学校 (肢体不自由) に在籍する中学3年生の生徒の宿泊学習への参加における合理的配慮

インクルDBのQRコードです。ぜひ、お試しください



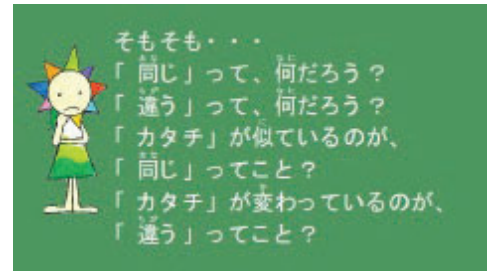
ありがとうございました。



# インクルーシブ教育システムや共生社会の理解推進の取組

## 令和6年度研究所公開におけるインクルーシブ教育システム推進センターの展示

- インクルーシブ教育システムや共生社会に関する基本的な情報を掲示
- 来所の皆様に、多様性の理解や尊重について考えたり、話し合ったり、意見表明をしたりするコーナーを設置



国立特別支援教育総合研究所ジャーナル(14号)に展示の概要を記した「インクルーシブ教育システム推進センター研究所公開展示報告に関する動向」を掲載



独立行政法人  
**国立特別支援教育総合研究所**  
 National Institute of Special Needs Education